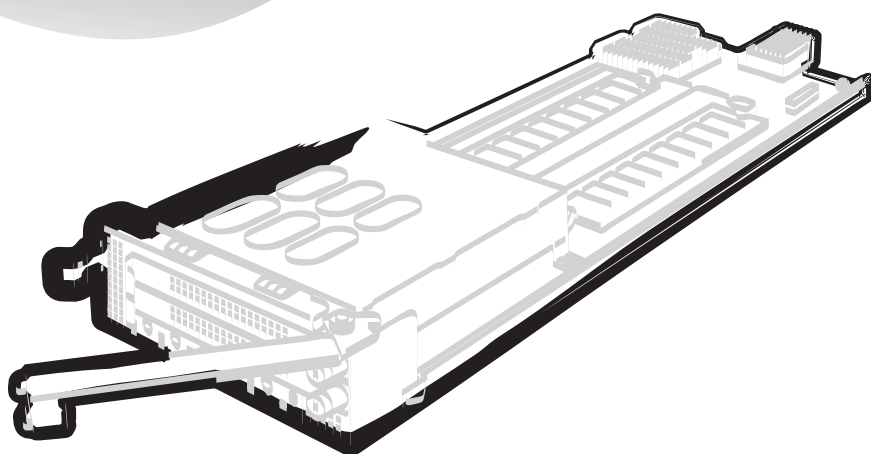




NEC Express5800シリーズ

N8400-024A

Express5800/110Ba-m3

ユーザーズガイド

2006年 9月 第2版

商標について

EXPRESSBUILDERとESMPROおよびCLUSTERPROは日本電気株式会社の登録商標です。DianaScopeは日本電気株式会社の商標です。Microsoft、Windows、Windows Server、MS-DOSは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。Intel、Pentium、Celeronは米国Intel Corporationの登録商標または商標です。Linuxは、Linus Torvaldsの米国およびその他の国における商標または登録商標です。Red Hatは、米国Red Hat, Inc.の登録商標です。ATは米国International Business Machines Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。DatalightはDatalight, Inc.の登録商標です。ROM-DOSはDatalight, Inc.の商標です。Adobe、Adobeロゴ、Acrobatは、Adobe Systems Incorporated(アドビ システムズ社)の登録商標または商標です。

その他、記載の会社名および商品名は各社の商標または登録商標です。

オペレーティングシステムの表記について

Windows Server 2003 x64 EditionsはMicrosoft® Windows Server™ 2003 R2, Standard x64 Edition operating systemおよびMicrosoft® Windows Server™ 2003 R2, Enterprise x64 Edition operating system または、Microsoft® Windows Server™ 2003, Standard x64 Edition operating systemおよびMicrosoft® Windows Server™ 2003, Enterprise x64 Edition operating systemの略です。Windows Server 2003はMicrosoft® Windows Server™ 2003 R2 Standard Edition operating systemおよび Microsoft® Windows Server™ 2003 R2 Enterprise Edition operating systemまたは、Microsoft® Windows Server™ 2003 Standard Edition operating systemおよびMicrosoft® Windows Server™ 2003 Enterprise Edition operating systemの略です。Windows 2000はMicrosoft® Windows® 2000 Server operating systemおよびMicrosoft® Windows® 2000 Advanced Server operating system、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating systemの略称です。Windows XP x64 EditionはMicrosoft® Windows® XP Professional x64 Edition operating systemの略です。Windows XPはMicrosoft® Windows® XP Home Edition operating systemおよび Microsoft® Windows® XP Professional operating systemの略です。Windows NTはMicrosoft® Windows NT® Server network operating system version 3.51/4.0およびMicrosoft® Windows NT® Workstation operating system version 3.51/4.0の略称です。Windows MeはMicrosoft® Windows® Millennium Edition operating systemの略称です。Windows 98はMicrosoft® Windows®98 operating systemの略称です。Windows 95はMicrosoft® Windows®95 operating systemの略称です。

サンプルアプリケーションで使用している名称は、すべて架空のものです。実在する品名、団体名、個人名とは一切関係ありません。

ご注意

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
- (2) 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- (3) NECの許可なく複製・改変などを行うことはできません。
- (4) 本書は内容について万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。
- (5) 運用した結果の影響については(4)項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

このユーザーズガイドは、必要なときすぐに参照できるよう、お手元に置いておくようにしてください。「使用上のご注意」を必ずお読みください。

使用上のご注意 - 必ずお読みください -

本製品を安全に正しくご使用になるために必要な情報が記載されています。

安全にかかわる表示について

本製品を安全にお使いいただくために、このユーザーズガイドの指示に従って操作してください。

このユーザーズガイドには装置のどこが危険か、どのような危険に遭うか、どうすれば危険を避けられるかなどについて説明されています。

ユーザーズガイドでは、危険の程度を表す言葉として、「警告」と「注意」という用語を使用しています。それぞれの用語は次のような意味を持つものとして定義されています。



警告

人が死亡する、または重傷を負うおそれがあることを示します。



注意

火傷やけがなどを負うおそれや物的損害を負うおそれがあることを示します。

危険に対する注意・表示は次の3種類の記号を使って表しています。それぞれの記号は次のような意味を持つものとして定義されています。

	注意の喚起	この記号は危険が発生するおそれがあることを表します。記号の中の絵表示は危険の内容を図案化したものです。	(例)  (感電注意)
	行為の禁止	この記号は行為の禁止を表します。記号の中や近くの絵表示は、してはならない行為の内容を図案化したものです。	(例)  (分解禁止)
	行為の強制	この記号は行為の強制を表します。記号の中の絵表示は、しなければならない行為の内容を図案化したものです。危険を避けるためにはこの行為が必要です。	(例)  (プラグを抜け)

(ユーザーズガイドでの表示例)

注意を促す記号	危険に対する注意の内容	危険の程度を表す用語
	指定以外のコンセントに差し込まない 指定の電圧で指定のコンセントをお使いください。指定以外の電源を使うと火災や漏電の原因となります。	 注意

本書で使用する記号とその内容

注意の喚起

	感電のおそれがあることを示します。		発煙または発火のおそれがあることを示します。
	爆発による傷害を負うおそれがあることを示します。		特定しない一般的な注意・警告を示します。
	高温による傷害を負うおそれがあることを示します。		

行為の禁止

	特定しない一般的な禁止を示します。		本装置を分解・修理・改造しないでください。感電や火災のおそれがあります。
---	-------------------	---	--------------------------------------

行為の強制

	本装置の電源プラグをコンセントから抜いてください。火災や感電のおそれがあります。		特定しない一般的な使用者の行為を指示します。説明に従った操作をしてください。
---	--	---	--

安全上のご注意

本装置を安全にお使いいただくために、ここで説明する注意事項をよく読んでご理解し、安全にご活用ください。記号の説明については巻頭の『安全にかかわる表示について』の説明を参照してください。

一般的な注意事項

 警告	
	人命に関わる業務や高度な信頼性を必要とする業務には使用しない 本装置は、医療機器・原子力設備や機器、航空宇宙機器・輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みやこれらの機器の制御などを目的とした使用は意図されておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本装置を使用した結果、人身事故、財産損害などが生じても弊社はいかなる責任も負いかねます。
	煙や異臭、異音が生じたまま使用しない 万一、煙、異臭、異音などが生じた場合は、ただちにブレード収納ユニットに搭載しているすべての装置の電源をOFFにした後、ブレード収納ユニットの電源コードをコンセントから取り外してください。その後、お買い求めの販売店または保守サービス会社にご連絡ください。そのまま使用すると火災の原因となります。
	針金や金属片を差し込まない 装置に金属片や針金などの異物を差し込まないでください。感電の危険があります。
 	腐食性ガスの発生する環境で使用しない 腐食性ガス(塩化ナトリウムや二酸化硫黄、硫化水素、二酸化窒素、塩素、アンモニア、オゾンなど)の発生する場所に設置し、使用しないでください。また、ほこり中に腐食を促進する成分(硫黄など)や導電性の金属などが含まれている環境へも設置しないでください。装置内部のプリント板が腐食・ショートし、火災の原因となるおそれがあります。 もしご使用の環境で上記の疑いがある場合は、販売店や保守サービス会社にご相談ください。

 注意	
 	海外で使用しない 本装置は、日本国内専用の装置です。海外では使用できません。この装置を海外で使用すると火災や感電の原因となります。
 	装置内に水や異物を入れない 装置内に水などの液体、ピンやクリップなどの異物を入れないでください。火災や感電、故障の原因となります。もし入ってしまったときは、すぐ電源をOFFにして、電源コードをコンセントから取り外してください。分解しないで販売店または保守サービス会社にご連絡ください。

設置・移動・保管・接続に関する注意事項

警告



ブレード収納ユニット内部に手を入れない

ブレード収納ユニットに装置を取り付け/取り外しをする際には、ブレード収納ユニット内に手を入れないでください。感電するおそれがあります。また、ブレード収納ユニットに取り付けられているカバーは装置の取り付けなど必要な場合を除いて取り外さないでください。装置の取り付け/取り外しは1台ずつ行ってください。

注意



指定以外の場所で使用しない

本装置は、専用の「ブレード収納ユニット」に搭載して使用します。ブレード収納ユニット以外やその他の筐体(ケース)に取り付けて使用しないでください。火災や感電の原因となります。



カバーを取り外したまま取り付けない

本装置のカバー類を外した状態でブレード収納ユニットに取り付けしないでください。装置内部の冷却効果を低下させ、誤動作の原因となるばかりでなく、ほこりが入って火災の原因となります。



指定以外のインタフェースケーブルを使用しない

インタフェースケーブルは、弊社が指定するものを使用し、接続する装置やコネクタを確認した上で接続してください。指定以外のケーブルを使用したり、接続先を誤ったりすると、ショートにより火災を起こすことがあります。

また、インタフェースケーブルの取り扱いや接続について次の注意をお守りください。

- 破損したケーブルコネクタを使用しない。
- ケーブルを踏まない。
- ケーブルの上にものを載せない。
- ケーブルの接続がゆるんだまま使用しない。
- 破損したケーブルを使用しない。



通気口をふさがない

装置にある通気口をふさがないでください。装置内部の温度が上がり、火災の原因となるおそれがあります。

お手入れ・内蔵機器の取り付けに関する注意事項

警告



分解・修理・改造はしない

本書に記載されている場合を除き、絶対に分解したり、修理・改造を行ったりしないでください。ブレード収納ユニットに搭載されている機器が正常に動作しなくなるばかりでなく、感電や火災の危険があります。

リチウムバッテリーを取り外さない



本装置内部に取り付けられているリチウムバッテリーを取り外さないでください。リチウムバッテリーは火を近づけたり、水に浸けたりすると爆発するおそれがあります。

また、バッテリーの寿命で装置が正しく動作しなくなったときは、ご自分で分解・交換・充電などをせずにお買い求めの販売店または保守サービス会社に連絡してください。

注意



高温注意

電源をOFFにした直後は、内蔵のハードディスクドライブなどをはじめ装置内部の部品が高温になっています。十分に冷めたことを確認してから取り付け/取り外しを行ってください。



中途半端に取り付けない

インタフェースケーブルやデバイスは確実に取り付けてください。中途半端に取り付けると接触不良を起こし、発煙や発火の原因となるおそれがあります。

運用中の注意事項

注意



雷が鳴ったら触らない

雷が発生しそうなときは電源プラグをコンセントから抜いてください。また電源プラグを抜く前に、雷が鳴りだしたら、ケーブル類も含めて装置には触れないでください。火災や感電の原因となります。



ペットを近づけない

本装置にペットなどの生き物を近づけないでください。排泄物や体毛が装置内部に入って火災や感電の原因となります。



近くで携帯電話やPHS、ポケットベルを使わない

本装置のそばでは携帯電話やPHS、ポケットベルの電源をOFFにしておいてください。電波による誤動作の原因となります。

取り扱い上のご注意 - 装置を正しく動作させるために -

本装置を正しく動作させるために次に示す注意事項をお守りください。これらの注意を無視した取り扱いをすると装置の誤動作や故障の原因となります。



保守サービスについて

本製品の保守に関して専門的な知識を持つ保守員による定期的な診断・保守サービスを用意しています。

本製品をいつまでもよい状態でお使いになるためにも、保守サービス会社と定期保守サービスを契約されることをお勧めします。

- ブレード収納ユニットへの取り付け位置と順序はあらかじめ決められています。本装置を取り付けるブレード収納ユニットの説明書を参照して正しいスロットに取り付けてください。
- 本体の電源をONする場合は、ブレード収納ユニットに搭載された電源ユニットに電源が供給され、Switchキットが初期化された後(約1分30秒後)に電源をONしてください。
- 本装置の電源を一度OFFにした後、再びONにするときは10秒以上経過してからにしてください。
- 装置の取り外しは、電源をOFFしていることを確認してから行ってください。
- オプションは購入した本装置のオプション対象品であることを確認してください。たとえば本装置に取り付け/接続できても正常に動作しないばかりか、本装置が故障することがあります。
- オプションは弊社の純正品をお使いになることをお勧めします。他社製のメモリやハードディスクドライブには本装置に対応したものもありますが、これらの製品が原因となって起きた故障や破損については保証期間中でも有償修理となります。
- インターネットを利用した悪意を持った第三者による攻撃などからシステムを守るためにファイアウォールの構築やセキュリティアプリケーションの適用、ログイン制限を設けるなどして十分な対策を講じてください。オペレーティングシステムやアプリケーションのディベロッパーから公開された最新のパッチ情報などを参照して、セキュリティホールなどをなくし、より安全に本製品をご利用ください。

健康を損なわないためのアドバイス

コンピュータ機器を長時間連続して使用すると、身体各部に異常が起こることがあります。コンピュータを使用するときは、主に次の点に注意して身体に負担がかからないよう心掛けましょう。

よい作業姿勢で

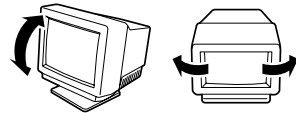
コンピュータを使用するときの基本的な姿勢は、背筋を伸ばして椅子にすわり、キーボードを両手と床がほぼ平行になるような高さに置き、視線が目の高さよりもやや下向きに画面に注がれているという姿勢です。『よい作業姿勢』とはこの基本的な姿勢をとったとき、身体のどの部分にも余分な力が入っていない、つまり緊張している筋肉がもっとも少ない姿勢のことです。

『悪い作業姿勢』、たとえば背中を丸めたかっこうやディスプレイ装置の画面に顔を近づけたままの状態で作業を行うと、疲労の原因や視力低下の原因となることがあります。



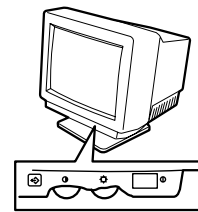
ディスプレイの角度を調節する

ディスプレイの多くは上下、左右の角度調節ができるようになっています。まぶしい光が画面に映り込むのを防いだり、表示内容を見やすくしたりするためにディスプレイの角度を調節することは、たいへん重要です。角度調節をせずに見づらい角度のまま作業を行うと『よい作業姿勢』を保てなくなりすぐに疲労してしまいます。ご使用前にディスプレイを見やすいよう角度を調整してください。



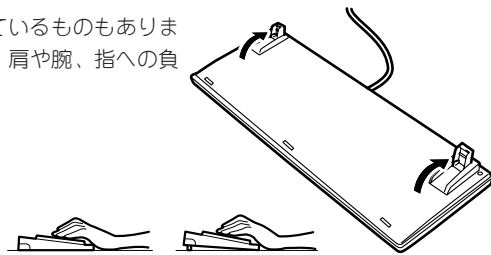
画面の明るさ・コントラストを調節する

ディスプレイは明るさ（ブライトネス）・コントラストを調節できる機能を持っています。年齢や個人差、まわりの明るさなどによって、画面の最適なブライトネス・コントラストは異なりますので、状況に応じて画面を見やすいように調節してください。画面が明るすぎたり、暗すぎたりすると目に悪影響をもたらします。



キーボードの角度を調節する

キーボードには、角度を変えることができるよう設計されているものもあります。入力しやすいようにキーボードの角度を変えることは、肩や腕、指への負担を軽減するのにたいへん有効です。



機器の清掃をする

機器をきれいに保つことは、美観の面からだけでなく、機能や安全上の観点からも大切です。特にディスプレイの画面は、ほこりなどで汚れると、表示内容が見にくくなりますので定期的に清掃する必要があります。

疲れたら休む

疲れを感じたら手を休め、軽い体操をするなど、気分転換をはかることをお勧めします。



はじめに

このたびは、NECのExpress5800シリーズ製品をお買い求めいただき、まことにありがとうございます。本製品は、最新のマイクロプロセッサ「Intel® Pentium® M processor(1.8GHz)」を搭載した高性能・高密度サーバです。

NECの最新テクノロジーとアーキテクチャにより従来のサーバでは実現できなかった省スペース化、運用コストの低減化を図りました。

「高信頼性」はもちろんのこと、「拡張性」を考慮して設計され、ネットワークサーバとして幅広くご利用いただけることでしょう。

本製品の持つ機能を最大限に引き出すためにも、ご使用になる前に本書をよくお読みになり、装置の取り扱いを十分にご理解ください。

本書について

本書は、本製品を正しくセットアップし、安全に使用できるようにするための手引きです。製品のセットアップを行うときや製品の取り扱いがわからないときなどにご利用ください。

本書は常に製品のそばに置いていつでも見られるようにしてください。

本書は、Windowsなどのオペレーティングシステムやキーボード、マウスといった一般的な入出力装置などの基本的な取り扱いについて十分な知識を持ったユーザーを対象として記載されています。

本文中の記号について

本書では巻頭で示した安全にかかわる注意記号の他に3種類の記号を使用しています。これらの記号と意味をご理解になり、装置を正しくお取り扱いください。

 重要	装置の取り扱いや、ソフトウェアの操作で守らなければならない事柄や特に注意をすべき点を示します。
 チェック	装置やソフトウェアを操作する上で確認をしておく必要がある点を示します。
 ヒント	知っておくと役に立つ情報や、便利なことなどを示します。

本書の購入について

もし本書を紛失された場合は、保守員にご相談ください。

品名: UL9020-00T

また、ユーザズガイドおよび添付のCD-ROMに収められているオンラインドキュメントの一部は、Express5800シリーズのホームページからダウンロードすることができます。

URL: <http://nec8.com/>

本書の構成について

本書は4つの編から構成されています。それぞれの編では次のような説明が記載されています。なお、巻末には索引があります。必要に応じてご活用ください。



「使用上のご注意」をはじめにご覧ください

本編をお読みになる前に必ず本書の巻頭に記載されている「使用上のご注意」をお読みください。「使用上のご注意」では、本装置を安全に、正しくお使いになるために大切な注意事項が記載されています。

第1編 導入編 本製品を導入するにあたり知っておいていただきたい情報とお使いになれるまでのセットアップの手順について説明しています。ここで説明する内容や手順を守って正しく本製品をお使いになるシステム環境へ導入してください。

第2編 ハードウェア編 本製品のハードウェアに関する説明をしています。各部の名称やその機能、オプションの増設方法、本製品にふさわしい設置場所について知りたいときに参照してください。

第3編 ソフトウェア編 本製品に添付のソフトウェアについてその機能や使用方法について説明しています。ここで説明する内容に従って正しくお使いください。

第4編 運用・保守編 本製品を運用する上で知っておいていただきたい情報が記載されています。また、「故障かな？」と思ったときは、装置の故障を疑う前に参照してください。

付属品の確認

製品が入ったの梱包箱の中には、本体以外にいろいろな付属品が入っています。添付の構成品表を参照してすべてがそろっていることを確認し、それぞれ点検してください。万一足りないものや損傷しているものがある場合は、販売店に連絡してください。



付属品について

- 添付品はセットアップをするときやオプションの増設、製品が故障したときに必要となりますので大切に保管してください。
- 添付品の「EXPRESSBUILDER」CD-ROMは、紙封筒に包装されています。パッケージの構成につきましては、紙封筒内にある「EXPRESSBUILDER」CD-ROMの構成表を参照してください。また、「EXPRESSBUILDER」CD-ROMを紛失し、再購入を希望されるときは、販売店へご相談ください。
- オペレーティングシステムに添付のソフトウェア登録カードは、所定事項をご記入の上、必ず投函してください。
- フロッピーディスクが添付されている場合は、フロッピーディスクのバックアップをとってください。また、添付のディスクをマスタディスクとして大切に保管し、バックアップディスクを使用してください。
- 添付のフロッピーディスクまたはCD-ROMは使用方法を誤るとお客様のシステム環境を変更してしまうおそれがあります。使用についてご不明な点がある場合は、無理な操作をせずにお買い求めの販売店または保守サービス会社にお問い合わせください。

第三者への譲渡について

本製品を第三者に譲渡(または売却)するときは、次の注意を守ってください。

- 本体について

本体を第三者へ譲渡(または売却)する場合には、添付の説明書や本書が格納されたCD-ROMを一緒にお渡しください。



ハードディスクドライブ内のデータについて

譲渡する装置内に搭載されているハードディスクドライブに保存されている大切なデータ(例えば顧客情報や企業の経理情報など)が第三者へ漏洩することのないように確実に処分してください。

WindowsやLinuxなどのオペレーティングシステムの「ゴミ箱を空にする」操作やオペレーティングシステムの「フォーマット」コマンドでは見た目は消去されたように見えますが、実際のデータはハードディスクドライブに書き込まれたままの状態にあります。完全に消去されていないデータは、特殊なソフトウェアにより復元され、予期せぬ用途に転用されるおそれがあります。

このようなトラブルを回避するために市販の消去用ソフトウェア(有償)またはサービス(有償)を利用し、確実にデータを処分することを強くお勧めします。データの消去についての詳細は、お買い求めの販売店または保守サービス会社にお問い合わせください。

なお、データの処分をしないまま、譲渡(または売却)し、大切なデータが漏洩された場合、その責任は負いかねます。

- 添付のソフトウェアについて

添付のソフトウェアを第三者に譲渡(売却)する場合には、以下の条件を満たす必要があります。

- 添付されているすべてのものを譲渡し、譲渡した側は一切の複製物を保持しないこと
- 各ソフトウェアに添付されている『ソフトウェアのご使用条件』の譲渡、移転に関する条件を満たすこと
- 譲渡、移転が認められていないソフトウェアについては、インストールした装置から削除した後、譲渡すること

消耗品・装置の廃棄について

- 本体および、ハードディスクドライブやオプションのブレード収納ユニット、各種デバイスの廃棄については各自治体の廃棄ルールに従ってください。詳しくは、各自治体へお問い合わせください。



- 本体のマザーボード上にあるバッテリーの廃棄(および交換)についてはお買い求めの販売店または保守サービス会社までお問い合わせください。
- ハードディスクドライブやバックアップデータカートリッジ、フロッピーディスク、その他書き込み可能なメディア(CD-R/CD-RWなど)に保存されているデータは、第三者によって復元や再生、再利用されないようお客様の責任において確実に処分してから廃棄してください。個人のプライバシーや企業の機密情報を保護するために十分な配慮が必要です。

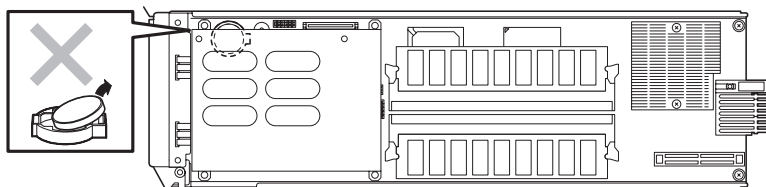
- 製品を構成する部品の中で、消耗による不具合や交換が必要な場合は、お買い求めの販売店または保守サービス会社にご連絡ください。



リチウムバッテリーを取り外さない

本装置内部に取り付けられているリチウムバッテリーを取り外さないでください。リチウムバッテリーは火を近づけたり、水に浸けたりすると爆発するおそれがあります。

また、バッテリーの寿命で装置が正しく動作しなくなったときは、ご自分で分解・交換・充電などをせずにお買い求めの販売店または保守サービス会社に連絡してください。



マザーボード

目次

 使用上のご注意 - 必ずお読みください -	iii
安全にかかわる表示について	iii
本書で使用する記号とその内容	iv
安全上のご注意	v
一般的な注意事項	v
設置・移動・保管・接続に関する注意事項	vi
お手入れ・内蔵機器の取り付けに関する注意事項	vii
運用中の注意事項	viii
取り扱い上のご注意 - 装置を正しく動作させるために -	ix
はじめに	xi
本書について	xi
本文中の記号について	xi
本書の購入について	xii
本書の構成について	xii
付属品の確認	xiii
第三者への譲渡について	xiv
消耗品・装置の廃棄について	xv

1 導入編

概要	2
サーバ管理について	3
サーバ管理	3
電源監視について	4
ストレージ管理(ディスク管理)	5
無停電電源装置管理	5
ネットワーク管理	5
導入にあたって	6
システム構築のポイント	6
システムの構築・運用にあたっての留意点	7
出荷時の状態を確認しましょう	7
セットアップの手順を確認しましょう	7
各運用管理機能を利用するにあたって	9
お客様登録	11
セットアップを始める前に	12
ハードウェアのセットアップ	12
システムのセットアップ	13
カスタムインストールモデルのセットアップ	14
セットアップをはじめる前に - 購入時の状態について -	14
セットアップの手順	15
オペレーティングシステムのセットアップ	15
デバイスドライバ(本体標準装備)のセットアップ	18

アダプタフォルトトレランス(AFT)/アダプティブロード	
バランシング(ALB)のセットアップ	24
障害処理のためのセットアップ	26
管理ユーティリティのインストール	34
システムのアップデート	35
システム情報のバックアップ	37
未インストールモデルのセットアップおよび再セットアップ	38
SystemGlobe DeploymentManager Liteを使ったセットアップ	38
ローカルインストール	39
注意事項	39
セットアップの手順(Windows)	43
再インストール(Linux)	50
注意事項	50
セットアップの手順(Linux)	51
管理用リモートデスクトップについて	52
Windows Server 2003の場合	52
ターミナルサービスについて	53
Windows 2000の場合	53
CPUブレード側へのターミナルサービスのインストール	53
ターミナルサービスクライアント	55
Adaptec HostRAID™について	58
Adaptec HostRAID(SATA)の概要	58
仕様	58
特長	58
注意事項	59
Adaptec HostRAID(SATA)セットアップの流れ	60
Windows Server 2003	60
Windows 2000	61
Linux	62

2 ハードウェア 編

各部の名称と機能	64
外 観	64
装置前面	65
装置内部	66
マザーボード	67
ランプ表示	68
POWERランプ	68
STATUSランプ	68
DISKアクセスランプ	70
IDランプ	70
ACT/LINKランプ	70
KVM選択ランプ	70
USB選択ランプ	71
COM選択ランプ	71
設置と接続	72
設 置	72
増設スロットの確認	72
取り付け手順	73
取り外し手順	76

接 続	78
ネットワークについて	80
電源ユニットについて	81
基本的な操作	82
電源のON	82
POWERスイッチによる電源ON	82
ネットワークからの電源ON	83
電源ON後の動作	83
POSTのチェック	84
POSTの流れ	84
POSTのエラーメッセージ	85
電源のOFF	86
コンソールの切替	86
デバイスの確認	87
USB接続の切替	87
シリアル接続の切替	88
製品情報/MACアドレスの確認	88
内蔵オプションの取り付け	89
安全上の注意	89
静電気対策について	90
取り付け前の準備	91
取り付け後の確認	93
取り付け/取り外しの手順	94
DIMM	94
ハードディスクドライブ	97
システムBIOS - SETUP -	106
起 動	107
キーと画面の説明	108
設定例	109
パラメータと説明	112
Main	113
Advanced	115
Security	121
Server	123
Boot	129
Exit	130
リセットとクリア	132
リセット	132
強制電源OFF	132
CMOSのクリア	133
RAIDコンフィグレーション	135
シリアルATAハードディスクドライブのRAID構築	135
ハードディスクドライブの取り付け	136
BIOSユーティリティを使用したRAIDの有効化	136
Array Configuration Utility (ACU) を使ったRAIDの構築	137

3 ソフトウェア 編

添付のCD-ROMについて	146
EXPRESSBUILDER	147

起動メニューについて	147
EXPRESSBUILDERトップメニュー	149
起動	149
ツールメニュー	150
コンソールレスメニュー	152
起動方法	152
ツールメニュー	153
マスターコントロールメニュー	154
Express本体用バンドルソフトウェア	155
Adaptec Storage Manager™	155
カスタムインストールモデルでのセットアップ	155
SystemGlobe DeploymentManagerを使ったセットアップ	156
手動インストール(新規インストール)	156
ESMPRO/ServerAgent	157
SystemGlobe DeploymentManager Liteを使ったインストール	157
EXPRESSBUILDERからのインストール	157
注意事項	159
エクスプレス通報サービス	160
カスタムインストールモデルでのセットアップ	160
手動インストール(新規インストール)	161
106キーボード用アップデータ	162
管理PC用バンドルソフトウェア	163
SystemGlobe DeploymentManager Lite	163
SystemGlobe DeploymentManager Liteのインストール	163
SystemGlobe DeploymentManager Liteの機能	164
WebSAM DeploymentManager(製品版)との機能差分	165
ESMPRO/ServerManager	166
DianaScope	166

4 運用・保守 編

日常の保守	168
アラートの確認	168
ステータスランプの確認	168
バックアップ	169
クリーニング	169
システム診断	170
システム診断の内容	170
システム診断の起動と終了	170
障害時の対処	173
障害箇所の切り分け	173
エラーメッセージ	174
POST中のエラーメッセージ	174
ランプによるエラーメッセージ	179
Windows Server 2003/Windows 2000のエラーメッセージ	179
サーバ管理アプリケーションからのエラーメッセージ	180
トラブルシューティング	181
本装置について	181
EXPRESSBUILDERについて	192
マスターコントロールメニューについて	193
ディスクアレイについて	194
ESMPROについて	194

その他のバンドルソフトウェアについて	194
障害情報の採取	195
イベントログの採取	195
構成情報の採取	196
ワトソン博士の診断情報の採取	196
メモリダンプの採取	197
IPMI情報のバックアップ	198
システムの修復	199
修復手順 (Windows Server 2003)	199
修復手順 (Windows 2000)	199
オフライン保守ユーティリティ	202
オフライン保守ユーティリティの起動方法	202
オフライン保守ユーティリティの機能	203
システムマネージメント	204
起動方法	204
EXPRESSBUILDERからの起動	204
フロッピーディスクからの起動	204
機 能	204
移動と保管	205
ユーザーサポート	206
保証について	206
修理に出される前に	206
修理に出される時は	207
補修用部品について	207
保守サービスについて	207
情報サービスについて	208
付録A 仕 様	209
付録B 保守サービス会社網一覧	210
索 引	215

—— オンラインドキュメントについて ——

添付の「EXPRESSBUILDER」CD-ROMには次のオンラインドキュメントが収められています。必要に応じてEXPRESSBUILDERのマスターコントロールメニュー（154ページ）から参照してください。

- ユーザーズガイド（本書）
- ESMPRO/ServerAgentインストールガイド
- ESMPRO/ServerManagerインストールガイド
- Adaptec Storage Manager™ユーザーズガイド
- エクスプレス通報サービスインストールガイド
- DianaScopeオンラインドキュメント
- 19インチラックユーザーズガイド